

富士山を眺める稜線歩き 小金沢連嶺

実施日 2014年11月11日(火)
 天候 曇り
 リーダー 中村 友子
 参加者 山崎富美恵、石附智江、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、徳山敬子、石附恵理子、(G波多野 吏) 計10名
 費用 3,888円(新宿起算) 車12,440円/台(往路、復路)
 タイム 甲斐大和駅 (8:40~9:15) 小屋平 (9:20~10:30) 石丸峠 (10:30~11:40) 小金沢山 (12:20~13:00) 牛奥ノ雁ヶ腹 摺山 (13:10~13:45) 川胡桃ノ頭 (13:45~14:20) 黒岳 (14:25~15:05) 湯ノ沢峠 (15:15~15:50) 甲斐大和駅

Sさんに代わりリーダーを務める事になり、当初の計画を少し変更しての山行とさせていただいた。

甲斐大和駅からはバスも運行されているが遠路からの参加者もあり、希望のバスには間に合わずタクシーで小屋平までとした。又、復路は湯ノ沢登山口でタクシーを迎えるはずであったが、曇りの上、湯ノ沢峠から登山口までの悪路、及び日の入りが速いため、湯ノ沢峠駐車場でタクシーを迎えた。

秋口に入ってから天気予報が当てにならず、晴れる予報が当日近くなるにつれ悪天候予報で、全くリーダー泣かせだった。参加者の中には不催行と思った人 そうな・・・

なんとか曇り日の中タクシーに乗りしばらくすると紅葉の素晴らしさに驚いた。里では赤、黄、の紅葉振りは素晴らしく高度を上げると唐松の黄金色が残りを見せていた。

小屋平バス停の向かいから急登、1時間10分で石丸峠。曇りで辺りは霧で何も見えず、寒さが身に伝えそのままゆっくり先へ、しかし風が無い事が幸いした。



小金沢山で昼食。初めて二人連れの登山者に出会った。彼らは湯ノ沢峠避難小屋で一泊、翌日滝子山方面から下山予定とか。出会ったのはこの二人のみ、平日山行は静かである。

時折霧が晴れ、笹で広がる行く手の尾根が満足感を与えてくれた。牛奥ノ雁ヶ腹



摺山、黒岳と登り下りを順調に進んだが湯ノ沢峠までの下りは少々笹の切枝で歩きづらく難儀であった。

終盤になった頃から天気が快方に向かい遠方の山々の紅葉が目飛び込んできた。悔しさを口にするも一滴の雨にも合わなかった事に感謝。

予定通り駐車場で待機のタクシー2台に乗り甲斐大和駅から帰京となった。所どころにあるテープに注意すれば迷う事はなく、又ほぼ安全、たっぷり歩行で楽しめた。

1日楽しい尾根歩きだったので春から初夏の再山行を約束、次回花の季節が楽しみである。

(記・中村 友子)

(写真提供・伊藤久雄/伊藤久雄)

